

2015 Expert Collection

4月号 通巻第367号



株式会社

エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048 (281) 1322 FAX 048 (286) 0866

http://www.exp-japan.jp e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

勤勉なメイドインジャパン スノーシューズシリーズ

日本の民具・ワカンジキを現代風にアレンジした雪上歩行器。前後を反らしたので急斜面でも上り下りが楽に行動できます。

- アイスバーンでもスノーシューズM、Lは逆さにつける必要はありません。アイゼンの下にワカンを着用して行動してください。
- いずれもフレーム直径は 22mm×1mm厚。爪はステンレス製。丈夫さと、靴につけやすい固定方式が人気で国内シェア随一。サイズが大きいほどに雪に対する浮力が増します。
- M、Lは鉄製 JIS トラスト中空 4×27 3 価クロメートリベットを採用。世界一耐久性の強い雪上歩行器です。
- M、Lとも爪高は 49mm。ベルトは赤色。
- 固定バンドはユーザーが簡単に調整できるフリーサイズ。摩耗したらユーザーが交換できます。

強いぞニッポン

◆スノーシューズM(SN3)

税込価格:¥12,085(本体価格¥11,190)

◆スノーシューズM(F)フラット型(SN17)

税込価格:¥11,869(本体価格¥10,990)

- DATA -

材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。
爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。
サイズ:410 mm×182 mm 重量:770g



だんとつニッポン

◆スノーシューズL(SN4)

税込価格:¥12,474(本体価格¥11,550)

◆スノーシューズL(F)フラット型(SN18)

税込価格:¥12,258(本体価格¥11,350)

- DATA -

材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。
サイズ:441 mm×182 mm 重量:780g

<特集>スノーシューズとアイゼンの同時使用方法

一般的な登山者では、頻度は少ない方法ですが、スノーシューズの特例の使用方法としてスノーシューズとアイゼンの同時使用法があります。これまでもコレクションで取り上げて来ましたが、使用されるユーザーのご理解不足もあり、お問合せや修理依頼がありました。

是非長く快適にご利用頂くためにも、改めてご紹介させていただきます。

スノーシューズとアイゼンを併用する場合の取り付け方法と、その際の注意点を下記写真を参考にしながらご説明します。お客様がスノーシューズとアイゼンの併用を考えられている場合、是非使用方法と注意点を伝えていただけますようお願いいたします。

まずスノーシューズとアイゼンを同時に使用する際は、下記の2通りの方法があります。

どちらを先に着けても問題ありません。ただ、写真下②の様にアイゼンを装着した後にスノーシューズを付けるとアイゼンの爪がスノーシューズのバンドに干渉し、バンドの消耗が早くなります。

① スノーシューズを先に靴に装着し、後からアイゼンを取り付けた場合



② アイゼンを先に靴に装着し、後からスノーシューズを取り付けた場合



前ページ②で使用する際の注意点

アイゼンを靴に装着して、行動中にスノーシューズを付ける場面が発生した場合、前ページ②のようにアイゼンを装着したままバンドの上からスノーシューズを装着する事も多くあるかと思えます。その際の注意点をご説明します。

下記写真の様に、アイゼンの爪がしっかりとバンドよりも雪面側に出ている状態でセットして下さい。絶対にバンドに爪が乗っかる様な状態ではセットしないで下さい。靴が小さく、アイゼンの前後プレート間のジョイントが短く設定されている場合で、写真の様に爪が雪面側に出ない場合は、この方法で併用は出来ません。併用を諦めるか、前ページ①の様に一度スノーシューズを靴に装着した後アイゼンを下側から取り付けて使用して下さい。



併用を避けて頂く場合

フロント側に関する注意点

スノーシューズを履いて行動すると、靴の激しい上下運動が発生します。そのため、装着時に下記写真の様にアイゼンの前爪が、スノーシューズのパイプに接触しないようセットして下さい。また使用中に接触し始めるようでしたら、バンドの締め直しをするか、それでも当たるようであれば、併用を避けて頂かないと、事故やスノーシューズの破損原因となります。また最初から接触するようであれば、サイズが合っていないので併用を避けて下さい。



併用に向かないアイゼン

スノーシューズとアイゼンとの同時使用は、もちろん他社のアイゼンでも可能です。ただ、お客様の使用されるアイゼンが併用に向いているかどうかは、事前に確認して下さい。

下記写真は併用に向かないタイプの例となります。

アイゼンの爪の形状によっては、スノーシューズとの併用には向きません。下記のタイプは、もちろんアイゼンとしての機能は素晴らしい商品ですが、スノーシューズと併用しようとすると、バンドに直接爪の歯が当たり、バンドを横からノコギリでカットする様な形となります。当然、バンドの消耗は激しく、簡単に切れて使用出来なくなってしまうます。



このようなタイプのアイゼンの場合は、2 ページ目で紹介した①の様に先にスノーシューズを靴に装着した後、アイゼンを下から装着して併用をして頂くか、併用を避けて頂くことをお願いしています。使用中にバンドが切れて、事故につながる危険もありますので、是非とも使用方法の注意点をお客様にご説明お願いいたします。

次の写真 3 点は、使用方法を間違っって破損やキズの付いてしまったスノーシューズの写真です。



やまのかたりべ

第53章 東天狗岳

夫の友人 M さんが、「 TENT 購入、冬用の寝袋も購入した」と言うので、1泊登山を企画することに。M さんは今回初めての雪山テント泊なので、自分達が初めて雪山に登った「天狗岳」と言う山を選び、稲子湯コースで天狗岳を目指す。

1月10日(土)

6時すぎ出発。

M さんが我が家まで迎車。車に我々の荷物を積み込み、早々に目的地に向かって出発。今回は稲子湯に駐車し、黒百合ヒュッテでテント泊、翌日東天狗岳に登り下山という予定を組む。高速も渋滞無く、快適に登山口まで到着。

<ポイント1>

天狗岳を目指すのにいくつかの登山口がある。

「渋の湯」「夏沢鉱泉」「稲子湯」いろいろコースがあるので何度足を運んでも楽しめる。

9時10分。

稲子湯到着。

温泉宿「稲子湯」には門松が飾られている。

車も数台駐車されただけの静かな登山口。身支度を終え、登山届を出し出発。



<ポイント2>

稲子湯温泉は標高1460mにある温泉宿。

映画「岳」のロケにも使用。

日帰り入浴、一人600円。

泉質:単純炭酸泉。効能:胃腸病、神経痛。

通年営業。1泊2食9500円から。駐車一日300円。(小海町観光協会参照)

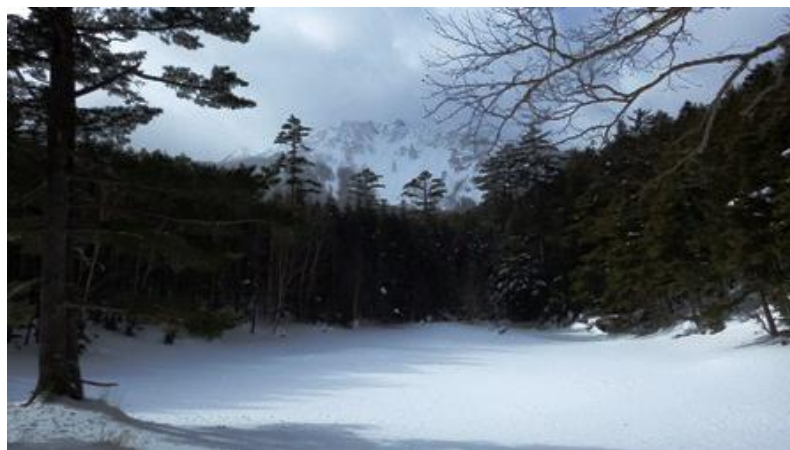
30分ぐらい歩くと、ゲートが出てくる。ゲートの前に無料駐車場スペースがあるので、車種によってはここまで入ることも可能。この日も大きな車が数台入っていた。

ゲートをくぐるとしばらくはなだらかな登りの林道。真っ青な空、木々の合間から差し込んでくる木漏れ日が気持ちいい。

途中コマドリ沢という箇所があるが、ここから通過地点のみどり池・しらびそ小屋まで登りがきつくなる。登りに入る前に少々休憩。ここにある看板の表記がおもしろいので、ご紹介。

「みどり池 はっても30分 稲子湯 何となく1時間」。

上を見上げると、この登りはどこまで続くのであろうかと感じるが、はっても30分なら頑張れば15分ぐらいか???なんて、前向きに思えますね。



11時50分

しらびそ小屋到着。

みどり池から望む東天狗岳はいつ見ても迫力がある。この時間少し曇っていたが、東天狗岳を見ながら軽く食事。テルモスに入った温かな紅茶、この一杯にいつも幸せを感じます。

<ポイント3>

しらびそ小屋、通年営業の山小屋。テント場あり。

宿泊大人一泊二食付き 8000 円より、

素泊まり 5000 円。

軽食メニューも豊富。

詳細は小屋のホームページ

<http://www.ytg.janis.or.jp/~st.imai/index.htm>



休憩しながら登山者の方と**テルモス**に付いて話がはずむ。その方はサーモスメーカーのテルモスを使用されていましたが、とても良いと言われる。満タンの状態だと保温力が断然良いとの事。また、小さいサイズもあるが、大きいサイズの方が保温力で勝るとのことでした。…メーカーの方ではないですよね(笑)

テルモスとは…真空断熱魔法瓶のことで、ドイツ語ではテルモス、英語ではサーモスと呼ばれている。

12時15分

黒百合ヒュッテに向け再出発。

しばらく歩くと、中山峠(黒百合ヒュッテ方面)と本沢温泉との分岐点に到着。ここから中山峠まで夏山地図上では1時間50分。峠までいっきに登り詰めるコース。

昔このコースを登った際、大寒波が来て登山者も無く、この最後の登りで雪崩の危険があるとガイドさんが判断し下山。思いで深い急登です。



後ろを振り向けば大パノラマ。

Mさんはこの最後の急登で、荷物が極端に重いので足が前に進まないと言い出す。が、一歩一歩蹴り込み、順調に登って行く。エネルギーに満ち溢れているMさんのパワーは本当にスゴイ!! テントを背負っての登山はこの山行が初めてとのこと。夏山テント泊をスキップして冬山からテント泊とは…荷物の重さに驚いた事でしょう。

15時10分

黒百合ヒュッテ到着。

受付を済ませ、今宵の住居となるテント設営に取り掛かる。

テント場は思ったより空いている。黒百合ヒュッテは予約で満室との事。すでに受付は大混雑。

さすが八ヶ岳です、大人気の冬山コースですね。

<ポイント4>

黒百合ヒュッテ、通年営業。テント場あり。宿泊大人一泊二食付き 8000 円より、素泊まり 5300 円。

詳細は山小屋のホームページ <http://www.kuroyurihyutte.com/>

暗くなる前に夕飯をそれぞれのテントで作り始めることにする。ここで、Mさんの料理に驚かされることに。下準備に、牛肉とエビを自宅でしっかり炒め、それらをスープとシチューに入れてふるまっていた。私なんて、冬山料理はいかに軽くするかをこだわってしまい、汁物、干物、寒い時は生姜のチューブと毎回手抜き料理になっていたのが反省。これだけでも驚いていたのに、Mさんのザックから更にフルボットのワインが登場！！荷物が重いわけです。しかし、肝心の栓抜きを忘れてしまったとのこと…。

近くにいた登山者の方に声をかけると、なんと運よく栓抜き登場、開けて頂きました。「スゴイね～そんなの持ってきたの！？」いえいえ、私ではありません。お礼を伝え急いでテントに引き返す。ホットワインを飲み体が温まったところで就寝。空模様は既に怪しくなっている。

「どうか明日少しでも晴れ間が見えますように…。」

1/11(日)

5時起床。

天候はあいにくのガス模様。朝食を食べながら様子を窺うも晴れる気配なし。すると、となりのテントのMさん「コーヒーどうぞ～」。Mさん豆から挽いてコーヒーを入れてくれる。香りも味も最高のコーヒーを楽しみ、天気も変わりそうもないので山頂に向けて出発。

7時15分、出発。

ガスってはいるが視界はますます良好。尾根に出ると強風と言うイメージがあるので、しっかり防寒具を身にまとう。ゴーグルは視界が狭くなるがまつ毛が既に凍ってしまっているので装着。



数パーティとすれ違いながら山頂を目指す。景色は真っ白の世界。晴れたら最高の景色が見られるが、この寒々しいなか歩くのも冬山らしくたまにはいいですかね。

8時

標高 2640m、東天狗岳山頂到着。しかし強風により早々に引き返すことに…。

<ポイント 5>

天狗岳は東天狗(標高 2640m)、西天狗(標高 2645m)に山頂が分かれている。東天狗岳は名の由来となったように赤い岩肌をむきだしにした岩峰で赤天狗と呼ばれ、西の峰は頂上までハイマツがある女性的な山で青天狗と呼ばれる。

八ヶ岳は、南八ヶ岳、北八ヶ岳と分類して呼ぶ事があるが、天狗岳は北八ヶ岳の中で一番標高が高く、南北21kmにわたる八ヶ岳連峰のほぼ真ん中に位置する山。赤天狗は南八ヶ岳の雄々しい岩肌を露出する山群の特徴を、青天狗は北八ヶ岳の針葉樹林と池の点在する山群の特徴を備えている。

(一部信州山岳ガイド参照)

8時50分

黒百合ヒュッテに到着。

テントを撤収し、早々に下山。Mさんのザックはかなり軽くなった事でしょう。

Mさん、「今日みたいな悪天候での登山も冬山らしくていいね」と楽しんでいただけた感想が出て企画した我々夫婦も満足。

12時10分

登山口の稲子湯到着。

帰りの車から見た八ヶ岳は厚い雲に覆われている。

冬の山登りは夏より天気に影響される。ひどい時は自分の足が見えないほどのホワイトアウトになる事も。今シーズンも、雪山を愛する多くの登山者の方々が無理せず、安全に楽しく雪山を楽しんでいただけると良いですね。今回も無事に登山を終えられた事に感謝。

(1日目)

稲子湯出発 9時25分
黒百合ヒュッテ着 15時10分

(2日目)

黒百合ヒュッテ発 7時15分
東天狗岳着 8時00分
黒百合ヒュッテ着 8時50分
黒百合ヒュッテ発 9時40分
稲子湯着 12時10分
メンバー:松田次郎・留美、友人M



文責:松田留美

今回のテント泊で活躍した E.O.J. の逸品！

負けるなニッポン クロスペグ (C10)

(特徴)

- 携行時に10枚重ねても46mm。使用時は十字型に開く。雪の重さを利用してテントを設営する杭。海岸や砂地でも砂に埋めて使える。世界唯一のクロスペグ
- 回収法は、張り綱を横に引くと抵抗が少なく抜きやすい。
- 出発前にテントの張り綱にクロスペグを結んでおくと、設営時間を大幅に短縮できます。
- クロスペグに無理な力がかかって変形した際は、もともにもどせば何度でも使えます。

※弊社では修理いたしません。

クロスペグ (C10)

材質:ジュラルミン製。カラー:シルバー

サイズ:長さ 150 mm×幅 20 mm×厚さ 4.6 mm

重量:17.5g

税込価格:¥772 (本体価格:¥715)



使用方法は、クロスペグを十字に広げ張り綱を中心位置に通して雪に埋めて使用します。